

公益財団法人 8020 推進財団

令和 2 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：障害者施設歯科健診及び障害者歯科診療所開設事業

2. 申請者名：一般社団法人 東京都立川市歯科医師会 会長 片岡 滋

3. 実施組織：一般社団法人 東京都立川市歯科医師会
社会福祉法人 立川市社会福祉協議会

4. 事業の概要：

立川市内開設の社会福祉法人 立川市社会福祉協議会に通所されている市内障害者（20 名）に対し歯科健診を行った。今後、他の施設を含めて継続的に市内障害者に対する歯科健診を推進していきたい。

市内障害者（230 名）に対し、歯と口に関するアンケート調査を行った。

障害者歯科健診及び障害者に対し歯と口に関するアンケート調査を行い集計分析し、行政と連携した障害者歯科診療所開設を目指す。

5. 事業の内容：

障害者の歯科健診票と歯と口に関するアンケート調査票を独自に作製した。

立川市社会福祉協議会に通所されている知的障害、発達障害、脳性麻痺等の障害を有する障害者（20 名）に対し、令和 3 年 3 月に歯科健診を行い、集計分析し結果を考察した。

令和 3 年 1 月に市内障害者（230 名）に対し歯と口に関するアンケート調査を行った。回答を集計分析し結果を考察した。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

今回、歯科健診を立川市社会福祉協議会に通所されている 18 歳～58 歳の障害者（20 名）に行い集計分析した。結果は、事前に考えていたよりも口腔状態が良好でした。施設職員は口腔ケアの重要性をよく理解しており、障害者の個々の状態に合わせた口腔ケアを熱心に行い管理していた。日々の口腔ケアの重要性を改めて強く感じた。今後、市内の他の障害者施設に対して歯科健診を行い、状況を把握したい。

市内の障害者（230 名）に対して歯と口に関するアンケート調査を行った。結果を集計し分析した。年齢は 7～15 歳が 1 番多く、性別は男性の方がやや多かった。病名は知的障害と発達障害等が多かった。定期的な歯科健診を受けている方は、受けていない方の約 2 倍いた。歯科医療機関に望むことは、う蝕治療が 1 番多く、次いで定期健診でした。歯科医療機関を選ぶ理由は近いこと、次いで予約の取りやすさでした。市内に障害者歯科専門施設を望む方は半分以上いた。上記の結果から、市内に行政と連携した障害者歯科施設を早急に開設する必要があると考えられた。